

原子力関係事業の進捗状況

電源立地勘定	· · · · ·	1
電源多様化勘定	· · · · ·	14

平成10年7月31日
科学技術庁原子力局

《立地勘定》

原子力関係事業の進捗状況

省庁名（科学技術庁）

事業名（原子力発電安全対策等委託費）

（単位：億円）

年 度	事業実施期間	9年度までの実績	10年度計画	11年度計画	12年度計画	13年度計画	実施機関名 又は委託先	備 考
予算額(決算額) 事 项								
1. 配管信頼性実証試験等	S50～H12	76 配管熱負荷試験 計算コード	2 検討中				日本原子力研究所	原子力発電施設の配管の 熱負荷試験による信頼性実 証試験
2. 大型再起水効果実証試験等	S51～H11	201 円筒炉心試験 計算コード	3 検討中				日本原子力研究所	原子力発電施設の再起水効 果に關し、実規模の実験装置 等を用いた実証試験
3. 放射能分析確認調査	S50～	173 ・ 分析確認調査 16県 県境放射能水準 調査 40県 データ収集管理 40県	15 検討中 15県	15県	15県	15県	日本分析センター 県等	道府県が行う県境放射能監 視事業の適正な実施を図るた めのクロスチェック分析調査 事業等

《立地勘定》

原子力開発事業の進捗状況

省庁名（科学技術庁）

事業名（原子力発電安全対策等委託費）

（単位：億円）

年 次	事業実施期間	9年度までの実績	10年度計画	11年度計画	12年度計画	13年度計画	実施機関名 又は委託先	備 考
予算額（決算額） 事 项								
4. 再処理施設等安全性実証 試験等	S6.5～H1.7	<p>426</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐食安全性 ・換気設備安全性 ・プロセス機器 安全性 ・環境放射能 安全性 ・実証解析等 ・閉じ込めプロ セス安全性 	<p>12 検討中</p> <p>酸回収蒸発缶、溶解槽及び異材接合部の耐食安全性の実証</p> <p>セル換気系の安全性の実証</p> <p>プロセス機器の安全性の実証</p> <p>放出放射性物質の環境安全性の実証</p> <p>計算コードを用いた各種安全解析等による安全性の実証</p> <p>放射性核種の再処理プロセス内での閉じ込め性能等の実証</p>				<p>民間機関等 日本原子力研究所</p> <p>民間機関</p> <p>環境研</p> <p>財團法人</p> <p>日本原子力研究所</p>	再処理施設の耐食安全性、 換気設備安全性等に関する実 証試験及び再処理施設の安 全性実証解析等

《立 地 決 定》

原子力関係事業の進捗状況

省庁名（科学技術庁）

事業名（原子力発電安全対策等委託費）

（単位：億円）

年 度	事業実施期間	9年度までの実績	10年度計画	11年度計画	12年度計画	13年度計画	実施機関名 又は委託先	備 考
予算額（決算額）								
事 項								
5. 原子力発電施設等緊急時 対策技術調査等	S5.7～	114 ・総合技術調査等 ・SPEED-I ・航空機サーベイ システム ・緊急時防災支援 ・機能高度化調査 ・緊急時最適化手 法調査 ・緊急技術助言対 応技術調査 ・核燃料輸送緊急 時対策技術調査	13 検討中 緊急時対策についてのマニュアル等の整備 システムの維持・機能向上、地方公共団体との訓練 地上走行試験、データ解析プログラムの整備 地域情報データベースの整備 緊急時対策最適化シミュレーションシステムの開発 PICA/ATKA等研究成果の反映、支援データベースの改良等機能研究、模擬試験 緊急時システムの実運用に向けた整備				原安研究協会 原安センター等 原安センター 原安センター 日本原子力研究所 等 原安センター	原子力発電施設等の周辺地 域において講じられる、緊急 時対策に関する技術調査等
6. 海洋環境放射能総合評価	S5.8～	64 海洋放射能調査 等	6 検討中 海洋環境放射能総合評価調査				海生研等	原子力発電施設等周辺海域 の放射能水槽調査及び評価等
7. 新型動力炉原型炉機器等 寿命信頼性等実証試験	S6.0～H1.1	27 検査機器信頼性 原子炉構造材 寿命信頼性	1 検討中 試験・評価 用射後試験 報射後試験				原安センター 日本原子力研究所	新型動力炉における機器部 材等に関する寿命信頼性等に 係る実証試験

《立地物定》

駆逐力関係事務の進捗状況

省序条（科学技术类）

專題名（原子力損害資金計算範例研究）

(單位：億円)

年 度	事業実施期間	9年度までの実績	10年度計画	11年度計画	12年度計画	13年度計画	実施機関名 又は委託先	備 考
予算額(決算額) 事 项								
8. 放射性廃棄物輸送容器等 安全性実証試験等	S 6.1～H 1.1	6.8 ・放射性廃棄物輸 送容器安全性実証 ・プルトニウム 輸送容器等安 全性実証	5 4号機製作・実証試験、総合評価	検討中			電中研	高燃焼度使用済燃料輸送 容器等の安全性実証試験
9. 研究開発段階原子炉施 設安全性実証解析等	S 6.2～	1.6 ・安全性実証解析	試験 ragazzi 作成、耐圧試験、総合評価	検討中			電中研	
10. 極燃料サイクル施設等 運転管理方策調査	S 6.3～	8 ・研究開発段階 原子炉施設 ・極燃料サイクル 施設	1 事故解析	検討中	事故 解 析		原力開発部	研究開発段階原子炉施設の 計算コード解析結果等による 安全性実証試験
			1 調査・分析評価・データベース作成	検討中	調査・分析評価、データベース作成		原安技術センター	極燃料サイクル施設等の運 転管理方策に関する調査

【立地勘定】

原子力関係事業の進捗状況

省庁名（科学技術庁）

事業名（原子力発電安全対策等委託費）

（単位：億円）

年 度	事業実施期間	9年度までの実績	10年度計画	11年度計画	12年度計画	13年度計画	実施機関名 又は委託先	備 考
予算額（決算額）								
事 項								
1.1. 海洋モニタリングシステム整備調査	H2～H11	13 ・モニタリング システム整備	1 海洋調査、試験総合評価				日本原子力研究所 等	海水中の放射能レベルを 迅速に分析するためのモニタ リングシステム整備のための 調査
1.2. 原子力発電施設等従事者 追跡健康調査	H2～H16	33 ・調査システム構築・ 追跡調査	5 調査システム構築・追跡調査				放射線影響協会	原子力発電施設等における 放射線業務に従事する者及び 放射線業務に従事したことの ある者に対する放射線による 健康への影響に関する調査
1.3. 原子力関係研修事業等	H2～	20 ・原子力防災研修 ・環境放射能分析 研修 ・大型廃物貯留槽 テキスト作成、研修実施	3 防災訓練シミュレーションの開発、研修の実施				原子力安全研究センタ 分析センター	地方公共団体の職員等を対象 とした原子力防災研修 地方公共団体の放射能分析担 当者に放射能分析技術向上の ための研修 大型再処理施設等に關係する 地方公共団体の職員を対象と した安全研修

《立地勘定》

原子力関係事業の進捗状況

省庁名（科学技術庁）

事業名（原子力発電安全対策等委託費）

（単位：億円）

年 度	事業実施期間	9年度までの実績	10年度計画	11年度計画	12年度計画	13年度計画	実施機関名 又は委託先	備 考
予算額（決算額） 事 项								
14. 國際原子力安全技術対策	H5～H13	4.4	3 調査・評価試験	検討中			民間調査機関等	我が国が開発した原子炉の運転管理・監視システム等をソ連型原子炉への適用性試験等
15. 國際原子力安全交流対策	H5～H14	2.2 ・相へい事業 ・派遣事業	7 検討中				日本原子力研究所等 原子力安全研究協会等	アジア・ペルシ・東欧諸国等の原子力関係者との原子力安全等に関する交流
16. 低線量放射線安全評価情報整備	H6～H11	4 ・安全評価情報	1 設計、システム整備、データ収集等	検討中			日本原子力研究所	低線量放射線に関する情報の整理・安全評価等
17. 原子力発電施設等内部被ばく評価技術調査	H7～H11	1 ・内部被ばく線量評価	0.4 線量算定コードの整備、データ調査等	検討中			日本原子力研究所	日本人代謝データ等に基づく内部被ばく線量の評価手法に関する調査

《立地勘定》

原子力関係事業の進捗状況

省庁名（科学技術庁）

事業名（原子力発電安全対策等委託費）

（単位：億円）

年 度	事業実施期間	9年度までの実績	10年度計画	11年度計画	12年度計画	13年度計画	実施機関名 又は委託先	備 考
予算額（決算額） 事 項								
18. 放射線利用技術・原子力 基盤技術移転事業等	H 7～H 11	10 ・技術指導 ・情報普及	4 検討中				放射線利用振興協会等	地方の研究開発機関等への 放射線利用及び原子力基盤技 術に関する技術指導、情報普 及
19. 再処理施設緊急時環境 モニタリングシステム 調査等	H 9～H 12	3 ・測定手法、モニ タリングシス テム調査	1 検討中 測定手法の調査・システム設計・製作				日本分析センター等	再処理施設における緊急時 環境放射能モニタリングシス テム確立のための調査等
20. 放射性廃棄物安全性 実証試験等	S 5.2～H 1.3	178 ・低レベル固化体 長期浸出試験 ・放射性核種分析 手法信頼性実証 ・難燃性・耐熱性試験 ・始動試験 ・軽焼却炉試験 ・最終处置試験 ・TRU廃棄物处 理安全性実証	7 検討中 難固体パッケージ等試験・評価 難固体等の分析・評価 ・試験処分開保試験 試験 試験 試験				日本原子力研究所 分析センター 日本原子力研究所 ガラクタシング研究協会 ガラクタシング研究協会 日本原子力研究所	低レベル放射性廃棄物等の 処分に係る安全性実証試験等

《立地勘定》

原子力関係事業の進捗状況

省庁名（科学技術庁）

事業名（原子力発電安全対策等委託費）

（単位：億円）

年 度	事業実施期間	9年度までの実績	10年度計画	11年度計画	12年度計画	13年度計画	実施機関名 又は委託先	備 考
予算額（決算額） 事 项								
2.1. 極燃料サイクル関係 推進調整等	S57～	362	59 検討中 ・原子力推進調整等 ・原子力広報対策等 ・海外原子力安全等調査 ・極燃料サイクル立地地域振興対策等調査	公開ヒアリング開催促進対策 高速増殖炉等推進調整 再処理施設等推進調整 核燃料物質等輸送推進調査 核燃料サイクル推進調整 高速増殖炉個別地点広報対策 高速増殖炉全国広報対策 再処理施設等個別地点広報対策 再処理施設等全国広報対策 核物質管理広報対策 ・ チェルノブイル事故放射線影響調査 アジア、南ソ連、東欧諸国原子力安全調査 欧米原子力安全調査 海外バックエンド対策調査 海外プルトニウム利用状況調査 関係地域調査、地域振興計画検討	民間調査機関等 民間調査機関等 民間調査機関等 民間調査機関等	核燃料サイクル関係施設の立地促進のため、その必要性、安全性に関する推進調整等		

《立地勘定》

原子力関係事業の進捗状況

省庁名（科学技術庁）

事業名（国際原子力機関等拠出金）

（単位：億円）

年 度	事業実施期間	9年度までの実績	10年度計画	11年度計画	12年度計画	13年度計画	実施機関名 又は委託先	備 考
予算額(決算額) 事 項								
2.2. 国際原子力機関等拠出金	H元～H13	10 ・国際原子力機関 拠出金	2 検討中 原子力平和利用の安全性・必要性に関する分析評価活動 旧ソ連・東欧原子力安全性の調査及び評価 海洋放射能環境調査				I A E A	I A E Aへの特別拠出金
		4 ・経済協力開発機構原子力機関拠出金	1 検討中 核燃料サイクル広報方策の検討等 原子力安全・調査解析				O E C D - N E A	O E C D - N E Aへの特別 拠出金

(立地勘定)

原子力立地関係交付金の追跡状況

省庁名(科学技術庁)

事業名(電源三法関係交付金)

交付金名	9年度予算額 (単位:百万円)	10年度予算額 (単位:百万円)	11年度計画		11年度以降 の計画	備考
			予算額	交付先		
(1) 電源立地促進対策交付金 (科学技術庁分)	2,786	3,034	検討中	原子力発電施設等の所在、隣接市町村等 交付対象施設 ・もんじゅ ・リサイクル機器試験施設 ・常陽「MK一三」	総額	
(2) 電源立地特別交付金	4,639	4,233	検討中			
(イ) 原子力発電施設等周辺地域交付金 (科学技術庁分)	3,901	3,493	検討中	原子力発電施設等の所在市町村、隣接 市町村等をその区域内に有する都道府県	総額	
(ロ) 電力移出県等交付金 (科学技術庁分)	738	740	検討中	発生電力量が消費電力量を1.5倍以上 の比率で上回る等の要件を満たす都道 府県	総額	

(立地勘定)

原子炉関係交付金の追跡状況

省庁名(科学技術庁)

事務名(電源三法開保交付金)

交付金名	9年度予算額 (単位:百万円)	10年度予算額 (単位:百万円)	11年度計画		11年度以降 の計画	備考
			予算額	交付先		
(3) 原子力発電安全対策等交付金	14,762	16,311	検討中			
(イ) 放射線監視等交付金	4,904	5,422	検討中	原子力発電施設等の設置が行われ、又は予定されている都道府県又は隣接市町村をその区域内に有する都道府県	総統	
(ロ) 大型再処理施設等放射能影響調査交付金	3,400	3,550	検討中	大型再処理施設等が設置され、若しくは設置が予定されている都道府県	総統	
(ハ) 広報・安全等対策交付金 (科技庁分)	206	206	検討中	原子力発電施設等の設置が行われ、又は予定されている都道府県、市町村	総統	
(ニ) 交付金事務交付金 (科技庁分)	16	12	検討中	各交付金の間接交付を行う都道府県	総統	
(ホ) 原子力発電施設等緊急時安全対策交付金 (科技庁分)	2,095	2,783	検討中	原子力発電施設等の設置が行われ、又は予定されている都道府県又は隣接市町村をその区域内に有する都道府県	総統	

(立地勘定)

原子力関係交付金の進捗状況

省庁名(科学技術庁)

事業名(電源三法関係交付金)

交付金名	9年度予算額 (単位:百万円)	10年度予算額 (単位:百万円)	11年度計画		11年度以降 の計画	備考
			予算額	交付先		
(ヘ) 放射線利用・原子力基盤技術試験研究推進交付金	2,560	2,750	検討中	原子力発電施設等が設置されている都道府県	継続	
(ト) リサイクル研究開発促進交付金	973	973	検討中	リサイクル研究開発施設が建設中、若しくは今後設置される市町村及び隣接市町村等	継続	
(チ) 原子力発電施設等立地地域長期発展対策交付金	615	616	検討中	原子力発電施設等が設置されている市町村	継続	
(リ) 整備計画作成等交付金 (科技庁分)	4	0	検討中	当該年度に整備計画の作成を行う都道府県	継続	

(立地勘定)

原子力関係引当の追加状況

省庁名(科学技術庁)

事業名(電源三法関係補助金等)

補 助 金 名	9年度予算額 (単位:百万円)	10年度予算額 (単位:百万円)	11年 度 計 画		11年度以降 の計画	備 考
			予 算 額	交 付 先		
(4) 原子力発電安全対策等補助金	1,933	3,347	検討中			
(イ) 原子力広報研修施設整備費補助金 (科技庁分)	130	389	検討中	都道府県等	継続	
(ロ) 重要電源等立地推進対策補助金 (科技庁分)	80	80	検討中	都道府県等	継続	
(ハ) 電源地域産業育成支援補助金 (科技庁分)	227	856	検討中	市町村等	継続	
(ニ) 電源地域振興促進事業費補助金 (科技庁分)	900	1,500	検討中	都道府県等	継続	
(ホ) 原子力発電施設等安全対策等研修 事業費補助金	296	222	検討中	都道府県等	継続	
(ヘ) 深地層研究施設整備促進補助金	300	300	検討中	都道府県等	継続	

事業名(電源多様化対策)

原子力関係事業の進捗状況

省庁名(科学技術庁)

[単位: 億円]

年 度	事業実施期間	平成9年度までの実績	平成10年度 計画	平成11年度 計画	平成12年度 計画	平成13年度 計画	実施機関名 又は委託先	備 考
予算額(決算額) 事 项								
(1) 使用済燃料再処理技術確証調査等 ① 再処理施設安全保障措置試験研究等 1. 大型再処理施設環境安全試験研究等	S. 56 ~ H. 16	12.7	1.6 (検討中)				(財) 鹿児島科学技術研究所	○放出放射性物質影響試験、再処理施設環境放射能安全性試験等の環境安全に係わる試験研究を推進し、その成果を民間再処理工場の建設・操業に反映させ、環境安全の確保に万全を期する。
			1.0 0.2	放出放射性物質の生物体への影響試験			(財) 産業製造研究所	
2. 大型再処理施設保障措置試験研究	S. 56 ~ H. 14	17.7	7.5 (検討中)	再処理オフガスからのトリチウム、 ¹⁴ C等の同時回収システムの技術開発			(財) 植物質管理センター	○大型民間再処理施設において、適切な保障措置手法が合理的に適用されるよう、各種保障措置システムの開発及び新規保障措置手法の最適な適用を図るために技術開発を行う。
3. 使用済燃料管理技術開発	S. 59 ~ H. 12	1.3 0.4	大型高処理施設の保障措置総合技術開発、查察データ自動取得システムの開発				日本原子力研究所	
		0.5 0.3 (検討中)	プロセスマニターモニタ技術の開発				(財) 電力中央研究所	○使用済燃料の安全かつ合理的な管理のための技術開発を行うとともに、使用済燃料の大容量の安全性、健全性の評価並びに将来的な貯蔵技術の検討及びその経済性の評価等を行う。
4. 大型再処理施設植物質防護システム確立調査	H. 2 ~ H. 10	3.2 0.7 (検討中)	乾式貯蔵実用化試験、使用済燃料貯蔵技術調査				日本原子力研究所	
		1.8 0.6	核水炉使用済燃料底界安全管理技術開発				(財) 植物質管理センター	○核物質の取扱量が多く、施設の規模も大きい大型民間再処理施設の核物質防護システムの確立を図るために調査を行う。
			核物質防護評価手法調査研究					

年 度	事業実施期間	平成9年度 までの実績	平成10年度 計画	平成11年度 計画	平成12年度 計画	平成13年度 計画	実施機関名 又は委託先	備 考
事 項	予算額(決算額)							
5. 再処理施設臨界安全技術開発	H.8～H.15	20.3	13.6	(検討中)			日本原子力研究所	○再処理施設の臨界安全設計及び臨界安全管理に関する技術開発を行うとともに、再処理炉の技術的検討を計算機シミュレーションにより行えるシステムコードを開発する。また、再処理における新抽出剤の利用技術の開発を行う。
6. 再処理施設保守支援技術開発	H.9～H.13	0.3	0.3	(検討中)			(株)日立製作所	○再処理施設の工程機器の放射性核種の除去技術を開発するとともに、保守時被ばく低減化の観点から再処理運転への配慮事項に関する検討を実施する。
② ウラン濃縮事業化調査 1. レーザー法ウラン濃縮技術開発	S.59～H.10	69.2	1.0				日本原子力研究所	○原子レーザー法の実用化に向けて、今までに得られた成果をもとに原子レーザー法技術の高効率化のために分離プロセス高度化についての基礎的研究を行う。
③再処理高度化技術開発 1. 燃料取出・連続溶解技術開発	H.7～H.16	1.4	0.6	(検討中)			(財)産業創造研究所	○再処理における使用済燃料溶解工程の経済性及び安全性の向上に資するために、使用済燃料棒から燃料のみを取り出し連続溶解する技術の開発を行う。
2. 新型式再処理システム技術開発	H.7～H.16	1.2	0.5	(検討中)			(財)産業創造研究所	○ウラン、アルミニウム、チタニウムを効率的に回収することが期待でき、かつ分離・抽出工程の大規模な簡素化、廃棄物の減容、経済性の向上が期待できる、材々交換体等を用いた新しい型式再処理技術の開発を行う。
(2)安全解析コード改良等 ① 極端事故安全解析コード整備	S.56～	30.7	3.6	(検討中)			(財)原子力発電技術機構	○行政庁が申請者の実施した安全評価を審査するため必要な安全解析コード及びデータベースを整備する。

年 度	事業実施期間	平成9年度 までの実績	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	実施機関名 又は委託先	備 考
			計画	計画	計画	計画		
事項	予算額(決算額)							
② 放射性廃棄物処分安全解析コード整備	S.61～H.15	4.4	0.8	(検討中)			(財)原子力安全技術センター	○廃棄物理設施・管理施設の安全審査に際して必要となる安全解析コードの整備等を行う。
(3) 軽水炉等改良技術確証試験等								
① 原子炉解体技術開発等	S.56～H.12	261	4.7	(検討中)			日本原子力研究所	○原子炉解体技術の高度化を図る。さらにスロバキア核炉の廃炉計画策定等に適用し評価を行う。また、チエルノブイリ原子力発電所に係る技術評価及びその活用方策の検討等を行う。また、原子炉の特徴に応じた最適な解体撤去方式について、総合的な検討を行う。
1. 原子炉解体技術開発等		25.8	5.9	(検討中)			(財)原子力施設デコマッケンバ研究協会	
		1.3	0.8	(検討中)			(財)原子力施設デコマッケンバ研究協会	
		0.3	(検討中)				(財)原子力安全研究協会	
		19.7	9.1	(検討中)			日本原子力研究所	○再処理施設の解体更新に必要な技術開発を原研東海研究所の再処理試験施設を対象として行う。
2. 再処理施設解体技術開発	H.2～H.13	2.1	0.6	(検討中)			日本原子力研究所	○原子炉の耐用年数に関して知見を得るために、原子炉圧力容器の耐用年数の評価手法を確立する。等について調査を行う。
3. 原子炉施設廃止措置必要年数調査研究	H.3～H.12	9.4	0.9	(検討中)			日本原子力研究所	○PWR高燃焼度燃料の照射後試験及び9×9燃料を用いた出力上界試験を行うために必要な試験設備の整備を行う。
④ 軽水炉燃料体性能試験等	H.2～H.13	6.9	0.5				(財)放射性廃棄物管理センター	○核燃料サイクルに関する限りの経済性、核燃料サイクル諸量のマネジメント等を国際的な視点から評価するシステムの開発維持を行う。
1. 高燃焼度燃料照射後試験等設備整備								
⑤ 発電用新型炉等開発調査	S.58～H.10	6.9	0.5					
1. 核燃料サイクル評価システム確立調査		ブリトニウム需要バランス把握システムの構築						

年 度	事業実施期間	平成9年度 までの実績	平成10年度 計画	平成11年度 計画	平成12年度 計画	平成13年度 計画	実施機関名 又は委託先	備 考
事項								
予算額(決算額)								
2. 極燃料サイクル基礎整備調査	H.6.3～H.11	1.0	0.1	(検討中)			(財) レーザー技術 総合研究所	○核燃料サイクル事業へのレーザー技術の適用可能性について総合的調査を行う。
3. 使用済MOX燃料リサイクル利用調査	H.10～H.14		0.2	(検討中)			(株) 三井マテリアル	○MOX燃料を本格的に利用する上で重要な使用済MOX燃料のリサイクルに関し、各技術オプションを明らかにした上でMOX燃料のリサイクル利用シナリオを検討し、将来の核燃料サイクル全体へ与える意義や課題を抽出して可能な解決策を明らかにすることにより、MOX燃料の円滑な利用に資する。
4. 設計情報等管理システム開発調査	H.5～H.10	1.0	0.2				(財) 核物質管理 センター	○原子力施設者から国、IAEAに提供する情報等を、詳細かつ合理的に整理するためのツールの開発調査を行う。
5. MOX燃料保険措置効率化システム開発調査	H.6～H.11	0.4	0.5	(検討中)			(財) 核物質管理 センター	○軽水炉におけるMOX燃料の本格利用に対応する保険措置シス템を構築する。
6. 保障措置環境分析開発調査	H.6～H.14	0.8	6.5	(検討中)			(財) 核物質管理 センター	○新しい保険措置立案の柱である環境アセスメント分析実施のための技術・手法の開発調査を行う。
7. 新保険措置制度確立に関する調査	H.9～H.14	0.2	1.3	(検討中)			(財) 核物質管理 センター	○変更業務等の効率的、効果的実施のためのリモートモニタリングシステムの開発に向けた調査等、新たな保険措置制度の確立を図るための検討を行う。
④ 極熱利用システム技術開発	H.8～H.16	10.0	0.3	(検討中)			日本原子力研究所	○高温ガス炉を利用した特徴の重要な素材一覧である水素の製造システム、及び高温発電用炉のアーリーリリースを行う。

年 度	事業実施期間	平成9年度 までの実績	平成10年度 計画	平成11年度 計画	平成12年度 計画	平成13年度 計画	実施機関名 又は委託先	備 考
事 項	予算額(決算額)							
⑥ 研究開発融炉革新的安全性向上要素技術試験研究	H.9～H.13 S.63～H.10		0.2	0.3			(財)航空宇宙技術振興財団	
⑦ ブルトニウム輸送等日米基礎形成調査	H.3～H.14	熱電発電システムの検討 6.1 0.5					(株)三菱重工	○安全性を向上しうる革新的要素技術について研究を行う。
⑧ 革新的支持基盤安定性評価技術調査	H.4～H.10	新高温材料による高爐構造部材の実機適用性に関する研究 1.3 0.2 (検討中)					(社)日本原子力産業会議	○我が国のアリカニア利用について日米原子力協定に基づく了解を円滑に得るために基礎形成を行う。
⑨ 革新的リサイクル技術開発調査委託費 1. 先進的リサイクルシステム開発調査	H.7～H.12	米国の核不拡散政策の調査・検討会の実施 1.3 0.5					日本原子力研究所 ベスコ	○支障基盤の安定性の評価等を行うため、現在研究中である最新の技術等を調査、検討する。 ○先進的リサイクル戦略の策定に資するため、燃料製造技術、燃焼技術、再処理技術及び環境への影響調査を含む廃棄物処理技術等に関する調査を実施する。
2. 金属燃料リサイクルシステム技術開発	H.7～H.16	海上支持方式等に関する調査 0.5 0.2 (検討中)					(財)電力中央研究所	○金属燃料を用いる場合のリサイクルシステムに係る技術を開発する。
⑩ MOX燃料加工施設信頼性技術開発調査委託費	H.7～H.12	799tド燃料製造加工技術、燃焼技術、再処理技術、廃棄物処理技術等の調査、リサイクルシステムの評価 1.1 0.8 (検討中)					(株)原子燃料工業	○アリカニアを利用する工場としての信頼性を確保する必要があり、残留MOX粉末の低減化対策、保障措置及び廃棄物処理に関する技術開発を行う。
⑪ 放射性廃棄物処分基礎調査等 1. アルファ廃棄物処理処分対策調査研究	S.60～H.12	試験機器設計・製作 5.2 6.3 (検討中)					(財)原子力環境整備センター	○アルファ廃棄物について調査、測定技術開発を行い、処理処分対策の確立を図るとともに、処分シナリオ調査及び基礎整備調査を行う。

年度	事業実施期間	平成9年度までの実績	平成10年度 計画	平成11年度 計画	平成12年度 計画	平成13年度 計画	実施機関名 又は委託先	備考
事項	予算額(次算額)							
2. 低レベル放射性廃棄物再利用技術開発等	S.62～H.14	0.6 IAEA等国際動向調査 測定技術開発(アクティブ中性子法) 測定技術開発(パッシブ中性子法) 大量に発生する金属廃棄物の再利用技術開発 高価な金属を再利用するためのクルーシブル法溶融試験	0.1 (検討中) 2.6 0.8 (検討中) 0.9 0.2 14.4 0.9 (検討中) 3.0 0.9 (検討中) 1.3 1.0 (検討中)				(財)原子力安全協会 日本原子力研究所 (財)植物質管理センター 日本原子力研究所 (財)原子力施設リサイクлин研究協会 (財)原子力環境整備センター等	○放射性廃棄物のうち利用価値の高い廃棄物について再利用に関する技術を確立するとともに適正な再利用についての基準整備等のための調査を行う。
3. 低レベル放射性廃棄物処分技術開発	S.62～H.11	合理的シナリオの作成及び安全評価手法の技術開発	0.6 人工天然バリアの技術要件の検討 1.3 (検討中)				(財)原子力環境整備センター	○埋設処分を行うことが具体化している放射能濃度の上限値を上回る低レベル放射性廃棄物の陸地処分を行うための調査研究を行う。
4. 放射性廃棄物地層処分事業化調査等	H.10～H.17	処分事業管理システムに関する調査 処分基準の調査及び安全評価シナリオの検討	0.4 (検討中)				(財)原子力環境整備センター (財)原子力環境整備センター	○地層処分を実施する上で必要な処分場の管理等の事業管理システムに関する調査や安全基準、評価指針等の策定のための調査等を行う。

年 度	事業実施期間	平成9年度 までの実績	平成10年度 計画	平成11年度 計画	平成12年度 計画	平成13年度 計画	実施機関名 又は委託先	備 考
事 項	予算額(決算額)							
(5)原子力発電信頼性向上関連装置開発費 等補助金	S. 60 ~ H. 12	2.5 新素材高溫性離心分離器の開発	0.5 (検討中)				(株)ウラン濃縮 機器等	○より一層の経済性の向上のため、 離心分離器の高度化機の開発を行う。 ・
(6)放射性廃棄物処理処分技術開発促進費 補助金	S. 57 ~ H. 13	22.5 放射性廃棄物の発生量低減化、減容化、バリア高性能化等に対する補助	1.0				民間企業等	○放射性廃棄物の適切な処理処分を 推進するために、減容技術等の開発 に対し補助を行う。
(7)国際原子力機関拠出金 1. プルトニウム利用に係る核拡散抵抗性 及び安全性及びプルトニウム国際管理 体制の検討	H. 3 ~ H. 13	4.3 核拡散抵抗性等	0.8 (検討中)				国際原子力機関 (IAEA)	○IAEAの場において、プルトニ ウム利用の核拡散抵抗性及び安全性 及びプルトニウムの国際管理体制に 關する検討を我が国の積極的なイニ シアティブの下に進める。